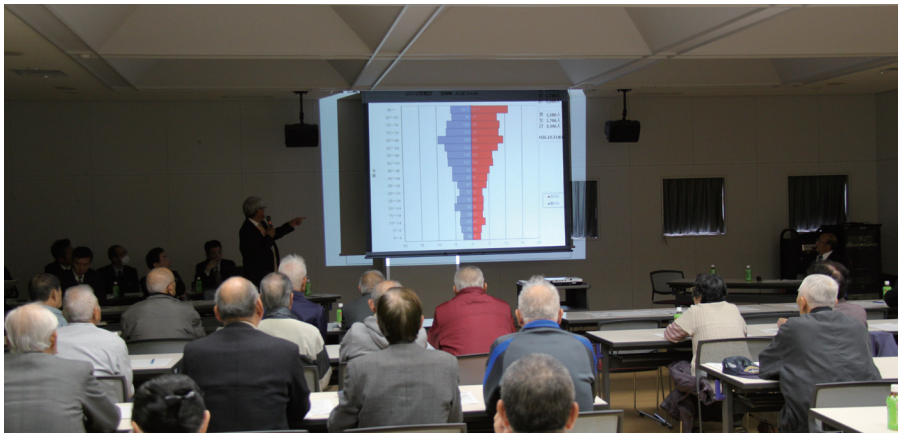
輝く未来のために

沼田長生クラブと懇談会を開催 11/13



▲活発な意見交換が行われました

１１月１３日（木）、ゆめっくるで沼田町長生クラブ（野道夫会長）と町で懇談会を開催しました。

長生クラブから事前に出された１９の質問事項について意見交換を行い、相互理解を深めました。懇談会では冬を迎え、除排雪に関する質問や、現在町が検討を進めているコンパクトエコタウンに関連して地方創生に関する疑問、ほろしん温泉ほたる館や農産加工場の現状に対してなど、幅広い議題について意見交換を行いました。

長生クラブの会員からは「会議のお茶を加工場の商品にしたほうがいいのでは」「温泉の利用促進につながるいいアイデアを絞ってほしい」など積極的な意見が出されました。

ピカピカの１年生になれるかな？

幼稚園児が小学校に体験登校 11/13

▲交流を深める１年生と幼稚園児

１１月１３日（木）、小学校に幼稚園の園児２２名が体験登校しました。

今年入学した１年生１９名が遊びのコーナーを設置して、来年入学予定の園児を迎え入れました。園児たちは「小学校って楽しい」「早く小学校に登校したい」など楽しく過ごしていました。楽しく過ごした時間もあっという間に過ぎてしまい、最後は幼稚園児からお礼にプレゼントが渡され、来年の４月を楽しみに見送りました。

雪にも負けず

白菜の花が開花

旭町の宮越さん宅の前に白菜が黄色い花を咲かせていました。自宅前で咲いているの見た宮越さんは、「白菜は寒さに強いが、雪が降ってから花を咲かせるのは珍しい」と知らせてくれました。

皆さんの周りで起こった不思議な出来事など、ぜひ広報にご連絡ください。

▲雪が降る中でもきれいに花を咲かせていました

皆で海を大切に

さかなクンのギョギョっとびっくり特別授業 11/20

▲ギョギョっという間の２時間でした

１１月２０日（木）、沼田小学校（藤森正男校長）でタレントで東京海洋大学客員准教授のさかなクンが、海に棲む生き物や海の大切さについて特別授業を行い、小中学生や町民に楽しくお話ししました。

授業では子ども達が大きな声で「さかなクン!!」と呼ぶとさかなクンが「こんにちはギョギョッ」と登場。さかなクンは大きな紙に鮭や蟹の絵をかきながらそれぞれの生態や命の繋がりについて話してくれました。生徒たちから疑問に思っていたことについて質問されると、わかりやすく答えてくれました。

最後に児童を代表して６年生の矢内さんから感謝を込めて花束を贈り、さかなクンを囲んで皆で記念写真を撮りました。

今回は丼物に挑戦!!

男の料理教室 11/21

▲指導を受けながら調理する参加者

男の料理教室が、１１月２１日（金）に、ふれあい調理室で行われました。

食生活改善協議会の主催により、料理体験の少ない男性が調理しなければならなくなった際に、慌てる事のないように、また将来的な介護予防のためにも〝食〟を通した自立支援を促そうと企画されました。

調理の前に生田管理栄養士からコンビニの弁当でも温めたり緑の野菜を取り入れるなど一工夫してほしいと話がありました。その後参加者は、「丼物に挑戦！」のテーマに沿い、食生活改善協議会会員の指導を受け、普段手にしない調理器具に悪戦苦闘しながら「３種類の丼物」の調理を進めました。

中学生が一般質問

沼田中学校３年生が子ども議会開催 11/14

▲真剣な表情の中学生

１１月１４日（金）、役場３階議場において、中学校３年生の生徒２６名が５項目の質問を行いました。

中学生は５つのグループに分かれ、「少子化対策」「沼田町でのイベント増量」「観光事業」「子供たちの行事」「農業体験ツアー」について具体的な提案を含めた質問を、町長、教育長に行いました。

開催に先立って、杉本議長から「積極的に堂々と緊張せず頑張ってほしい。中学生の視点をどんどん取り入れてほしい。」と挨拶があり、武知朔矢（さくや）さんと春山竣（しゅん）さんが議長を務め議事が進められ、金平町長からは「１０年後２０年後の沼田にとって大事な時期、今回いただいた意見を別の機会にも論議していきたい。」との挨拶のあと、それぞれの質問を行いました。

癒し&ハンドメイド

ぬまた女性フェスタ２０１４ 11/16

▲ブレスレット作り講座の様子

１１月１６日(日)、ゆめっくるで「ぬまた女性フェスタ２０１４」（同実行委員会）が開催されました。

女性フェスタは町内の女性が中心となって活動している団体同士の交流と親睦を図り、新しい知識や情報の共有をすることで活動の幅を広げていくことを目的として例年開催しています。

会場ではかぼちゃぜんざいの無料配布コーナーや、喫茶コーナーでは歌声喫茶として大須賀ひできさんのミニコンサートや、ドリーミー♡ぐらんまの美しい歌声が会場に響きました。

また、２階の会場ではフリーマーケットが軒を並べたほか、座りヨガ体験教室など７種類の女性限定の体験コーナーが開催され、参加者の皆さんは普段体験することが出来ない各コーナーに積極的に参加していました。

小中一貫教育に向けて

教育講演会「学校と教師を変える小中一貫教育」11/26

▲講演を行う西川氏

今年度一貫・連携教育２年目の町では幼小中の合同授業などに取り組み、空知管内では唯一、北海道教育委員会から「小中連携、一貫教育実践事業」指定（３年間）を受け、系統だった指導計画の作成や小中の乗り入れ授業、合同授業、各種交流活動の具体的な取り組みが始まっています。

その一環として１１月２６日（水）、我が国小中一貫教育の第１人者である京都産業大学教授の西川信廣氏を講師に招き、「学校と教師を変える小中一貫教育」と題した沼田町教育講演会がゆめっくるで開催されました。

開催に先立って生沼教育長は「今後沼田町で幼小中が連携した取り組みをスムーズに行うために、保護者、地域、教師の皆さんが共通の認識を共有してほしい。」と挨拶しました。

講演で西川さんは、地域の特性を活かした沼田町の向うべき方向性、子どもたちが何を知っているのかではなく何ができるのか、地域や保護者を巻き込んで人を育てること、地域の伝統や文化を通じて子どもを見守ることなど、国レベルでの一貫教育推進に関する動きや、先進的に取り組んでいる学校を紹介しながらお話しされました。会場には幼稚園、小学校、中学校の先生や保護者、教育委員など約７０名が来場し講演会が開催されました。

沢山の本に囲まれて

図書館フェスティバル開催 11/30

１１月３０日（日）図書館フェスティバル（同実行委員会主催）がゆめっくるで開催されました。

町民から寄せられた古本が多く集まった古本市では、気に入った本を選び満足気な表情を浮かべていました。

このイベントは、図書館ボランティアや中学生のボランティア有志などにより運営され、皆に愛されるイベントとなっています。

また、沼田町開拓１２０年の記念事業として記念映像の放送や、沼田喜三郎さんの紙芝居や、人形劇、ポスターコンクール等の表彰も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

▲沼田喜三郎さんの紙芝居

永年勤続の皆さんを表彰

沼田町商工優良従業員表彰式 11/23

１１月２３日（日）沼田町商工会主催の優良従業員表彰式が、観光情報プラザで開催され、４事業所計１１名が表彰を受けました。また、特に模範的従業員として（株）沼田開発公社の宮脇浩三さんが、沼田町長表彰を受けました。

表彰式冒頭の挨拶で吉住淳男商工会長は「国の景気対策が地方にはまだ届かない。商工会役員一同、働く皆様の環境を更に良くしていき、会社が発展するようにしていきたい。」と話しました。

最後に受賞者を代表して町長表彰を受けた宮脇さんが「身に余る光栄で仕事をする上では大変励みになる、町の発展のためつながるよう頑張りたい。」とお礼の挨拶をしました。

▲表彰を受ける宮脇さん

◆被表彰者名簿◆

●　５年以上　池田　　透　氏【教和建設（株）】山本　勝利　氏【教和建設（株）】

●１０年以上　立石　　勝　氏【教和建設（株）】矢内　政雄　氏【教和建設（株）】
　　山田　　勉　氏【渡部建設（株）】

●１５年以上　高橋　信高　氏【教和建設（株）】佐々木　誠　氏【渡部建設（株）】

●２０年以上　田村　あけみ氏【（株）沼田開発公社】

●２５年以上　山崎　静雄　氏【渡部建設（株）】

●３０年以上　宮脇　浩三　氏【（株）沼田開発公社】

●３５年以上　澤田　信子　氏【（株）マルサン藤沢呉服店】

●沼田町長表彰　宮脇　浩三　氏【（株）沼田開発公社】

謎のキャラクターも登場？

ファミリーコンサート開催 12/6

１２月６日（土）、ゆめっくるで２回目の開催となるファミリーコンサート（沼田吹ガールズ主催）が開催されました。

沼田吹ガールズが音楽を通して、地域の親子が気軽にふれあい、交流する場を提供しようと、子育て支援センターなどの協力を得て行われました。

当日は小学校のスクールバンドも参加し、「花は咲く」や嵐のナンバー等が披露されました。

曲の間にはかわいらしいキャラクターも登場し、会場に訪れた子供たちを喜ばせていました。

▲小学校スクールバンドと沼田吹ガールズのコラボ演奏

熱戦を繰り広げました

第３０回全町ミニバレーボール大会 11/30

▲楽しみながらも熱戦が繰り広げられました

１１月３０日（日）、町民体育館で第３０回全町ミニバレーボール大会（町体育協会主催・町ミニバレーボール協会主管）が開催されました。

開会式では、長原誠会長が「スポーツを通じて体作りをしてカゼをひかないよう健康管理をして欲しい。」と挨拶し、商工青年部チームの岩村さんが元気に選手宣誓をしました。

大会には町内から一般の部６チーム、ミドルの部３チームの合わせて９チーム７８名が参加し、それぞれリーグ選で熱戦を繰り広げました。

雪の中で熟成

雪の科学館で「雪なごり」を長期熟成 12/4

▲雪が降る中作業が行われました

１２月４日(木)、雪の科学館で雪中ブランド「雪なごり」の原酒の長期熟成が始まりました。

今年の秋に収穫されたばかりの沼田産雪中米を原料として、高砂酒造の蔵元が丹精込めて醸造しました。この日は雪の科学館に４，０００ℓが運ばれ、３月中旬まで熟成されます。

雪の科学館の室温は２～５℃で、室温は８０％以上で、安定した気温の中で熟成された原酒は味の角が取れてまろやかになり飲みやすく、高い湿度は風味を飛ばさないのに最適とのこと。

熟成を終えた雪なごりは、来年４月頃から、数量限定の生貯蔵酒と通常火入れ酒の２種類として、町内の酒販組合加盟店などで販売される予定です。

１００年の歴史を感じて

沼田町土地改良区創立１００周年記念祝賀会 12/5

▲挨拶する堀田理事長

１２月５日（金）、ほろしん温泉ほたる館で沼田町土地改良区創立１００周年を祝う祝賀会が開催されました。

祝賀会で堀田理事長は「先人が苦労して切り開いた大地を守り、安心・安全な食料の供給に必要な施設を整備したい」と挨拶しました。金平町長からは「本年は開拓１２０年の節目の年、歴史の重なりを感じる。明るい農村環境に向けてご尽力いただきたい」と祝辞を述べました。

祝賀会には北竜町長や総代、役員など８５名が参加し今後の飛躍を誓いました。

かわいく・たくましい園児たち

沼田保育園でお遊戯会 12/7

▲元気一杯の園児たちでした

１２月７日（日）、沼田保育園（土肥芳子園長）で第６１回目となるお遊戯会が開催されました。

冒頭の挨拶で土肥園長は「練習通りにはならないかもしれないけど、園児は元気に所狭しと動き回ってくれると思います」と話し、中村宗寛育友会長は「今日のお遊戯会に向けて、子どもたちは一生懸命練習してきた。総練習を見たけど、子どもの成長が実感できた」と、それぞれ子どもたちへの期待を語っていました。

園児たちは園長や育友会長の言葉に応えるかのように、歌やお遊戯、和太鼓などを元気よく精一杯に披露。カメラ片手に会場に集まった保護者からは大きな拍手が上がっていました。

元気一杯の笑顔

元気１００倍教室閉講式 12/11

▲参加者皆さんで記念撮影

１２月１１日（木）、ふれあいで元気１００倍教室の閉講式が行われました。

これまでに１３回開催された１００倍教室に参加した回数に応じてポイントを付与し、その合計ポイントの表彰も行われました。閉講式に参加した金平町長からは「これからも周りの友達を誘い合って、どんどん事業に参加して健康貯金をしてください。」と挨拶しました。

今後は冬場の運動不足解消などを目的にフロアカーリング教室を開催しますのでぜひご参加ください。日程などにつきましては保健福祉課保険グループ（電話３５－２１２０）へお問い合わせください。